

白老町まち・ひと・しごと創生有識者会議の開催結果（概要）

○平成29年11月6日（月）第1回白老町まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催
「創生総合戦略」の検証と「平成28年度実施地方創生加速化交付金事業」の検証を実施

○ 創生総合戦略の検証における主な意見は下記のとおりである。

◆創生戦略に対する意見について

- ・人口減少を前提とした施策展開が必要
- ・将来の人口を推計したうえで、そこを到達点とし、医療や公共交通、居住区の統合などを検討する必要がある
- ・他自治体の戦略を知り、当町がその上を行くような施策立案が必要

◆評価手法及びKPIについて

- ・評価項目が多く、時間内に全て評価することは難しい
- ・KPI 到達率の算出手法について工夫が必要
- ・評価の精度が低い
- ・アウトカムではなく、アウトプットによる指標設定が必要

◆各主要施策について

- ・まちづくり会社の設立を、早期に進めるべきである
- ・小さい頃からのふるさと教育の実施は大切である
- ・東南アジア圏のインバウンド誘客を推進する必要がある
- ・「情報発信戦略」を総合戦略の中に位置づける必要がある

○ 地方創生加速化交付金の検証における主な意見は下記のとおりである。

- ・事業全体において、一定の成果が見られるとの意見が多くあげられた。一方、事業を継続するには、取組方法の見直しや、すそ野を広げる取組が必要との意見があげられた。
- ・事業成果の周知が一部の町民にとどまっていること、また、開発した商品等についてその後の周知が継続されていないことなど、周知不足があげられた。
- ・ホームページだけではなく、SNS を活用した情報発信が、今後必要となるとの意見があげられた。
- ・町民参加型・体験型の事業や、郷土を知ってもらう事業は有益であり、その事業を進めるための人材育成に今後、注力すべきとの意見があげられた。